

リリースガイド

リリースガイド

M.App Enterprise 2021

バージョン 16.7

2021年3月1日



このリリースについて	4
重要なお知らせ	4
M.App エンタープライズ製品	4
M.App Enterprise の機能強化と新機能	5
Azure Active Directory	5
ブランディング/テーマ設定	6
ブラウザアプリ制作	7
フィーチャーアナライザー	
新しいマップビューウィザード	10
アトリビュートプレビューの強化	11
機能属性の強化	11
M.App Enterprise のマップビュー対応(LuciadRIA のマップビュー)について	
Motif のカラー同期機能の強化	13
マルチデーターセット対応	14
新しいチャート。タブ付きチャートコンテナ	19
新しいチャートワークフローウィジェット	19
新しいグローバル・ウィンドウ・スタイル - モダン	21
空間フィルタの強化	23
ツールチップの定義の強化	23
レジェンド・ビヘイビア	23
ブラウザアプリのための新しい M.App Editor	24
OGC プラグイン	26
SAP ハナ	28
スタイルエディター	29
空間ワークショップ	32
2ファクタ認証	33
各種機能強化	34
マイアプリページのアプリタイプフィルタ	34
リストのオートコンプリートフィールド	34
EPSG コードまたは名称	34
アプリのページに移動するボタン	35
デスクトップクライアントの新しいアイコンについて	35



デスクトップクライアントでの測定単位(UOM)	の変更36
パノラミックのサポート	
解決した課題	
ヘキサゴンについて	45



本ドキュメントでは、M.App Enterprise の機能強化について説明しています。本ドキュメントの情報は、製品 リリース時のものです。最新のバージョンについては、Hexagon Geospatial Support Portal をご覧ください。

このリリースには、M.App Enterprise の修正と機能強化が含まれています。製品の修正に関する情報は、「解決 された問題」セクションをご覧ください。機能強化に関する情報は、「新技術」セクションをご覧ください。

本ドキュメントは概要のみであり、M.App Enterprise の機能のすべての詳細を説明するものではありません。 M.App Enterprise に関する追加情報は、オンラインヘルプやその他の製品ドキュメントをお読みください。

重要なお知らせ

今回の M.App Enterprise のリリースは、一種の "ハイブリッド "です。新機能(Style Editor、M.App Editor、 Feature Analyzer)が導入されているにもかかわらず、M.App Enterprise 以前の 2021 年の設定やコンポーネン トはそのままで、動作します。

一部のコンポーネントやフレームワークは、M.App Enterprise 2022 で廃止されます。

- オールドスタイル・エディター
- 旧 M.App 編集部
- Leaflet をベースにしたブラウザアプリ
- リーフレットに基づく特徴分析
- **BI**マップウィザード

M.App エンタープライズ製品

M.App Enterprise は、組織向けの地理空間アプリケーションを作成するためのオンプレミス型プラットフォームです。M.App Enterprise は、お客様の画像、ベクターおよび点群、ワークフロー、分析、およびクエリを保存し、使いやすいインターフェイスから一箇所でアクセスすることができます。M.App Enterprise プラットフォームでは、お客様の組織のビジネス上の問題を解決するための独自の地理空間アプリケーション(Hexagon Smart M.App と呼ばれる)を構築して展開することができます。Hexagon Smart M.App は、クラウドベースで対象を絞った軽量かつダイナミックなアプリで、答えを提供し、情報を視覚的かつ説得力のある方法で提示します。

M.App Enterprise は、スマートな M.App の展開の価値を実現しつつ、企業ネットワークの制約を受けずに運用 したい企業向けのプライベートホスティングソリューションです。

M.App Enterprise では、組織のネットワーク内のどこからでも Smart M.App にアクセスし、リアルタイムに回答を得ることができます。



M.App Enterprise の機能強化と新機能

Azure Active Directory

Azure Active Directory(Azure AD)は、マイクロソフトのエンタープライズ向けクラウドベースのアイデンティティおよびアクセス管理(IAM)ソリューションです。Azure AD は、Office 365 システムのバックボーンであり、オンプレミスの Active Directory との同期や、OAuth による他のクラウドベースのシステムへの認証を行うことができます。

新しいテナントを作成する際に、その特定のテナントに Azure AD を使用することができるようになりました。

ACTIVE DIRECTORY INTEGRATION (OPTIONAL)		
Type None Azure		Client ID*
Client Secret*		
Name*		
Password*		
		Forgot password?
	Sign in with Microsoft	

チュートリアルとビデオについては、<u>https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-</u> <u>Tutorials/How-to use-Azure-Active-Directory/ta-p/41537</u>をご覧ください。

Login



ブランディング/テーマ設定

M.App Enterprise 2021 では、プラットフォーム内のテーマを変更したり、ヘッダーやアイコンの色を自分好み に変更することが可能です。

テーマは、ユーザー設定(管理、スタジオ、アプリ)で変更できます。

3つの選択肢があります。

- Automatic OS と同じ設定を使用
- Dark ダークテーマ
- Light 明るいテーマ

デスクトップクライアントには専用のボタン

があり、OSの設定を上書きすることができます。

	Welcome M.App Enterprise S. Licensed to M.App Enterprise P. LOGOUT / SETTINGS	
llser		
Admin		
Aumin		
Email		
stefan.sch	huettenkopf@hexagon.com	1
Language	e	
English		1
Theming		
Dark		*
Automati	C	
Light		





詳細は以下をご覧ください: https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/How-touse-custom-branding-change-the-the-the-for-MAE/ta-p/41539

ブラウザアプリ制作 (Map Views)

M.App Enterprise 2021 は、ブラウザアプリの設定を変更します。設定のライブプレビュー(「プレビューを有 効にする」が有効な場合のみ利用可能)の他に、legend と EPSG が定義されます。さらに、標準的な設定 (Styleset, Bounds) と追加の Viewer Options と Effects (LuciadRIA から来ている)が表示されます。



注: 3D が起動していて、マニュアルバウンドを選択している場合、チルトはできません。

legend に表示されているデータセットの横のアイコンをクリックすると、そのデータセットの範囲内に地図が 自動的にズームインします。



新しいリリースでは、ブラウザアプリケーションにエフェクトを追加することができます。これは、管理者が 行うこともできますし、エフェクトパネルの右端にあるロックアイコンをクリックすることで、エンドユーザ ーが利用できるようになります。





ここでは、ブラウザアプリにエフェクトをかけない場合とかける場合を比較しています。





以下設定を追加

- Depth Of Field
- •Sun Light



詳細は以下をご覧ください: https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/How-to setup-a-browser-app-with-MAE-16-7/ta-p/41540



フィーチャーアナライザー (Analyzer Views)

新しいマップビューウィザード

New Map View Wizard		B
Map View Configuration		
Map View: 2D Atlanta ✓ Dock: Background ✓	Legend: Atlanta_Oke Style:	
Analyzer Layer Selection		
 × Incidents × Boundaries Open Street Map 		
		Apply M

New Map View Wizard は、新しい Analyzer ビューを最初に起動する際のランディング・ウィジェットです。 今回のリリースでは大きな変更点があり、LuciadRIA ウィジェットや New Map View Wizard を使用する前 に、まず M.App Enterprise Studio でマップビューを定義する必要があります。マップビューが選択される と、レジェンドとスタイルがロードされます。Analyzer の Layer Selection セクションでは、Analyzer のデー タセットとして使用するデータセットを選択することができます。OK をクリックすると、Analyzer は以下の 処理を行います。

- 凡例とスタイルセットが関連付けられた新しいマップビューの作成
- Analyzer Layer Selection で選択されたレイヤーへのデータセット参照の自動作成
- 選択されていないもの、選択できないものを背景レイヤーとして追加
- 分類がスタイルセットの一部として定義されている場合、テーマウィジェットを自動的に生成する
 - o 自動的に生成されたテーマ・ウィジェットは、スタイルセットの分類/カテゴリー化と同期したままになります。

アナライザ・ビューで複数のマップ・ビューを使用する場合は、このウィザードを複数回実行できます。新規 マップ・ビュー・ウィザードを起動するには、[Dataset Configuration] タブにある [new Map View Wizard] ボ タンをクリックします。 m⁺



アトリビュートプレビューの強化

属性プレビューが移動しました。属性プレビューを有効にするには、データセットのヘッダーにあるiのアイ コンをクリックしてください。

Data Preview: Inci	dents	×
Field Name	Value	
id	1	
datetime	12012015010000	
offense	LARCENY	
X	-84.40742	
у	33.80107	
beatid	2	
datetime2	12012015010000	
geometry	object	
My New Functional Attribute	New Attribute	
		Close 🖂

Functional Attribute の強化



本リリースでは、Functional Attribute が移動しました。Dataset Configuration 画面から Functional Attribute を 作成/編集できるようになりました。新しい Functional Attribute を作成するには、データセットヘッダーの 「+」アイコンをクリックします。機能属性を削除するには、削除したい機能属性の横にある x をクリックし ます。既存の機能属性を修正するには、機能属性名の右にあるペンのアイコンをクリックします。



なお、新しい Attribute Preview Widget では、機能属性を含むデータセットのプレビューウィンドウが開いていれば、機能属性の結果をすぐに見ることができます。

× Incidents	Ø 🛈 +
id	
datetime	
offense	
x	
У	
beatid	
datetime2	
geometry	
× My New Functio	nal Attribute

M.App Enterprise マップビュー対応(LuciadRIA マップビュー)

M.App Enterprise Map Views が Feature Analyzer で完全にサポートされました。M.App Enterprise Map Views では、複雑なスタイル、凡例、マップビューの投影、ツール、オプションを定義することができます。

本リリースの Feature Analyzer では、Map View の設定が必須となります。マップビューの設定は、 LuciadRIA ウィジェットの General タブで設定できます。

CONFIGURATION		
General	Style	
Map View Configuration:	Oil Tank Filling Level	~

マップビューの構成が設定されると、LuciadRIA マップビューウィジェットにドッキングされた各機能に対して、追加のスタイルセットカラーオプションが利用できるようになります。

FEATURE CONFIGURATION

General	Geometry	3D
Color by:	Style Set	~

Color by: Style Set を選択した場合、**M.App Enterprise** スタイルセットによって完全に駆動されるため、 **Analyzer** 内のラインおよびポイントのスタイルは使用できません。

スタイルプロパティ

Feature Analyzer では、ダイナミックなスタイリングを可能にするために、2 つのダイナミック・プロパティをフィーチャー・データセットに追加しています。この2 つのプロパティは、fa_disabledとfa_measureValueです。これらのプロパティは、M.App Enterprise Style Editor で使用できます。

fa_disabled(オプション): データセット内のあるフィーチャーが選択対象に含まれていないことを示しま す。これは、スタイルセットのフィルターを定義する際に使用される。例えば、以下の画像では、Queens が



選択されています(fa_disabled = false)。Staten Island、Brooklyn、Manhattan、Bronx は選択されていません(fa_disabled = true)。fa_disabled を使用したフィルターが使用されていない場合、Analyzer ではデフォルトの無効なスタイルが自動的に適用されます。



選択した項目のサンプルフィルター

RULE	
Name	Active
Filter	
[fa_disa	abled] = "false"
RULE	
Name	Disabled
Filter	2
[fa_disa	abled] = "true"

Motif のカラー同期機能の強化

Motifs タブに新しいオプションが追加され、M.App Enterprise のブランディングと Analyzer のビューを同期 させることができるようになりました。M.App Enterprise のブランディングを使用する場合は、「Use M.App Enterprise Branding/Theme」オプションを有効にしてください。このオプションは、ユーザーが定義した、 またはデフォルトのブラウザ設定のダーク/ライトテーマモードも使用します。





マルチデーターセット対応

Feature Analyzer で複数のデータセットを簡単に追加・管理できるようになりました。デフォルトでは、 Analyzer ビューを初めて作成すると、データのないデフォルトのデータセットが作成されます。このデータ セットは、デフォルトのマップビュー([Additional Charts]タブで参照)のコンテナです。Dataset Configuration] ダイアログには、いくつかの新しい機能があります。データセットの追加]、[データセットの削 除]、[データセットの更新]、[データセットのリンク]、[リンクオプションの指定]、[ビューのインポート]、[ビ ューのエクスポート]があります。

🌣 🖆 🔇 ڬ 🖄 🕪 📮 🐼 🚍	
ATASET CONFIGURATION	
Save	Apply

データセットの追加

• Add Dataset ボタンをクリックすると、ビューにデータセットを追加することができます。このボタンは、 Dataset Configuration ダイアログの左下にあります。データセット設定ダイアログが開きます。

Dataset Configuration						×
Dataset Name: Ge						
Local File	M.App Enterp	rise	Online Source	External Service	No Da	ata
Mode:	Vector Set	~				
Legend:	undefined	~				
Vector set:	Sydney	~				
Data set:	Geospace_Sydney	~				
Update Interval (seconds)						
Websocket Url:						
Create Feat	ure Layer					
					Close	Connect

この画面は、元のデータセット構成定義画面に代わるものです。以前のデータセット定義画面に加えて、新しい オプションがあります。これらの新しい項目は、「Local File」、「No Data」、「Update Interval (seconds)」、 「WebSocket Url」、「Create Feature Layer」です。

データセット名

このオプションでは、データセットに固有の名前を指定することができます。このデータセット名は、「データセット構成」、「機能属性」、「追加のチャート」、「追加の機能」、「ツールチップ」の各構成タブで参照されます。

3



ローカルファイル

M.App Enterprise プラットフォームで、「ローカルファイル」オプションが利用できるようになりました。これに より、小さなデータセット(15MB 未満)をハードディスク上のファイルから直接インポートすることができま す。これらのデータセットは、ビュー設定ファイルに直接保存されます。大きなデータセットは、M.App Enterprise のコンテンツデータベースにインポートする必要があります。

• データなし

No Data オプションでは、データのないデータセットを指定することができます。このようなタイプのデータセットでは、Leaflet Map View、Luciad RIA Map View、HTML Display ウィジェットなど、Analyzer データを必要としないウィジェットをホストすることができます。

更新インターバル(秒)

このオプションは、[フィールド設定]ダイアログの[詳細設定]タブから移動しました。データセットごとに独立した更新間隔を指定できるようになりました。

Websocket Url

WebSocket Url は、データセットへのリアルタイムの追加を提供するサービスを指定しています。既存のデータ セットに新しいレコードを追加するための WebSocket ペイロードは以下の通りです。

{
 type: "new",
 data: [{<javascript object containing fields for the new row>}]
}

新しいレコードのスキーマは、新しいレコードが追加されるデータセットと一致していなければならない。

• フィーチャーレイヤーの作成

属性のみのデータセットを指定できるようになりました。属性データセット(ジオメトリフィーチャの情報がない)を使用する場合は、このオプションのチェックを外してください。データセットにジオメトリフィーチャがあり、マップビューが表示されている場合は、このオプションをチェックすると、ジオメトリが自動的にマップ ビューに追加されます。

- キャンセル
 データセットをビューに追加せずに [フィーチャーデータの追加] ダイアログを閉じます。
- コネクト Analyzer はデータセットへの接続を試みます。接続時にエラーが発生した場合は、エラーの詳細を示すエラーダ イアログが表示されます。接続が完了すると、Add Feature Data ダイアログが閉じ、Dataset Configuration 画面 に新しいデータセットが表示されます。



データセットのリンク

データセットリンクを簡単に管理できるようになりました。データセットリンクは、あるデータセットのフィールドを別 のデータセットのフィールドにドラッグすることで作ることができます。リンクが設定されると、2つのフィールド名の 間に赤い線が引かれます。2つのデータセットがリンクされている場合、一方のデータセットにフィルターをかけると、 リンクされているデータセットのフィルターにも影響します。以下のデータセットの構成を例に挙げます。

× Atlanta 🖉 🛈 🕂	
× Incidents 🖉 🛈 +	
id	
datetime	
offense	× Boundaries 🖉 🛈 🕂
	id
	7000
atid	2010
atetime2	area
eometry	geometry

3つのデータセットがあります。デフォルトのデータセットには、LuciadRIAのマップビューという**1**つのウィジェットが 含まれています。Atlanta2にはポイントが、そして atlboundaries にはポリゴンが含まれています。この設定では、これら のデータセットは互いに独立してフィルタリングされます。境界線をクリックすると(一番上)、ヒートマップとクラスタ ー化されたポイントフィーチャはフィルタリングされずに残ります。



atlanta2 データセットの "Beatld "と atlboundaries の "ZONE "の間にリンクを張った場合の結果は以下の通り。





これで、atlboundaries データセット上でジオメトリが選択されると、atlanta2 データセットはジオメトリの選択を反映してフィルタリングされます。なお、M.App Enterprise のデータセットを使用する場合、必要な属性データをすべてダウンロードするために「Apply」をクリックする必要があるかもしれません。



リンク設定

設定コグでは、リンクされたデータセットの内側と外側の結合を指定できます。デフォルトでは、データセットは内側結合でリンクされます。一致しないレコードはフィルタリングされて除外されます。(境界フィーチャに該当するポイントがない場合、システムはその境界フィーチャを表示しません)。場合によっては、リンクされていないレコードやフィーチャを含めることが望ましいこともあります。1つ目のデータセットのフィールドデータが2つ目のデータセットのどのデータとも一致しない場合に、フィルターが定義されていないときにすべてのデータを表示したい場合は、このオプションをオフにしてください。

N レベルのディープリンクを可能にする

デフォルトでは、Analyzer はデータセットに対して1レベルのディープリンクを実行します。これは、単純 なシナリオを容易にし、循環的なリンク参照を避けるためです。例えば、Dataset A <-> Dataset B <-> Dataset C というシナリオを考えてみましょう。Dataset A をフィルタリングすると、Dataset B は Dataset A のフィルタを反映して更新されますが、Dataset C はフィルタリングされないままです。リンクされているす べてのデータセットにフィルターを適用する必要がある場合は、Enable

N-Level Deep Linking ボタン、 (例: *Dataset A <->* Dataset B <-> Dataset C <-> Dataset A)。 Analyzer はこれらを解決しようとしますが、望ましくないフィルタリング結果になる可能性があります。



リンクの削除

データセットのリンクを削除するには、行の中央にある×をクリックします。

ビューテンプレートのインポート/エクスポート

Dataset Configuration 画面から、ビューをビューテンプレートとしてインポート/エクスポートできるように なりました。

データセットをインポートするには、インポートボタン、をクリックします . ビューテンプレート画面 が表示されます。

View Template			×
(Click to Browse or Drop File	e Here	
Selected File:			
		Close	Import

ビューテンプレートを指定したら、Importをクリックしてビューを読み込みます。

ビューテンプレートをダウンロードフォルダーにエクスポートまたは保存するには、 をクリックします

▲ 。このオプションは、「メニュー」→「エクスポート」メニューでも利用できます。

エラー処理

データセットの読み込みに失敗した場合、Analyzerは残りのすべてのデータセットの読み込みを続行します。 どのデータセットの読み込みに失敗したかは、読み込みダイアログとデータセット設定ダイアログで確認でき ます。エラー状態のデータセットは赤で表示されます。データセットを削除するか、データセットを編集して エラーを修正するかを選択することができます。

DATASET CONFIGURATION



編集によってエラーが解消されると、データセット定義が更新され、エラーが解消されたことと、利用可能な 属性が表示されます。







新しいチャート。タブ付きチャートコンテナ

チャートをタブ付きコンテナにドッキングできるようになりました。これにより、多くのウィジェットが必要 な場合に、ダッシュボードのインターフェイスをよりすっきりさせることができます。タブ付きコンテナに は、ドッキングしたチャートのうちフィルタが有効になっているものが表示され、フィルタのアイコンをクリ ックすることでフィルタをすぐに解除することができます。この機能を有効にするには、「タブ付きチャー ト」を作成します。既存のチャートのドックタイプを、新しいタブ付きチャートの名前に設定します。

新しいチャートワークフローウィジェット

Feature Analyzer から M.App Enterprise Workflows を簡単に使用できるようになりました。M.App Enterprise Workflow を使用するには、新しい Chart を追加し、タイプを Workflow に設定します。

ワークフロー名と起動フォームを指定する必要があります。ビューのロード時にワークフロー・ウィジェット を自動的に起動させたくない場合は、Start on Load のチェックを外してください。これは、他のアクション からワークフローを開始させたい場合に便利です(例:ツールチップ内から編集ボタンをクリック)。

CONFIGURATION

General	Style	
Workflow Name:	Atlanta	~
Startup Form:	TestAtlanta	~
Start on Load		

ワークフローの実行を制御するために、いくつかの追加スタイルパラメータを設定することができます。2つ の一般的なオプションは、「ユーザーモードのサイズ変更を許可」と「チャートメニューから隠す」です。ユ ーザーモードでのサイズ変更を許可すると、ユーザーはワークフローのウィンドウを自由に移動/サイズ変更 することができます。また、Hide from Charts メニューを使用すると、ワークフローの起動方法をさらにコン トロールすることができます。

CONFIGURATION

General	Style
🗌 Transparent Backç	ground
Allow User Mode F	Resizing
🗹 Hide from Charts I	Menu
Mide from charts i	wenu



ワークフローの起動

ワークフローを起動するには、いくつかの一般的な方法があります。一つ目は、ツールチップに対するアクションです。これを行うには

- 1. ワークフロー・ウィジェットを作成します。ワークフロー・ウィジェットの名前をメモしておきま す。
- 2. 機能属性を作成します。Launch a Workflow の例を挿入する。
- 3. 該当する場合は、機能属性データセットを更新する。
- 4. chartTitle パラメータをワークフローのウィジェット名に合わせて更新します。
- 5. なお、コマンドボタンのテキストはデフォルトで「Edit」となっています。これを変更することができます。
- 6. Apply "をクリックします。
- 7. Tooltip Configuration」タブで、新しい機能属性を追加します。
- 8. Apply "をクリックします。

次の方法は、HTML チャートを使う方法です。これを行うには

- 1. 新しい HTML チャートを作成します。
- 2. Launch a Workflow の例を挿入します。
- 3. ワークフローのタイトルを、ワークフローウィジェットのタイトルに合わせて更新します(デフォル トは「Editor」)。
- 4. Apply "をクリックします。

また、ワークフローは API を介して提供されます。

Analyzer.workflows.getWorkflowByTitle("Editor").launchWorkflow(optional record id);

Studio モードでワークフローを起動すると、ワークフローの起動時にログインプロンプトが表示されます。これは、ワークフローの起動に Apps セッション ID が必要なためです。Apps モードでは、ログインプロンプトは表示されません。

Workflow API

ワークフロー・スクリプト内から Analyzer API にアクセスできます。シンプルなワークフローAPI は、一般的 な機能を実行するために用意されています。これらの関数のほとんどは、Analyzer.workflows ネームスペース にあります。

Analyzer.workflows.getAllWorkflows(): Analyzer で定義されているすべてのワークフロー・ウィジェットの 配列を返します。

Analyzer.workflows.getWorkflowByTitle(*title*):ウィジェット・タイトルによって特定のワークフロー・ウィ ジェットを返す

Analyzer.workflows.closeAllMapPopups():すべてのマップ・ビューでアクティブなポップアップ・ウィンド ウをすべて閉じます。

Analyzer.workflows.updateWorkflowDataset(workflow): ワークフローに関連付けられたデータセットの再読み込みを Analyzer に指示します。

また、各ワークフローオブジェクトは、機能のセットを持っています。

Workflow.CloseWorkflow(): Analyzer のワークフロー・ウィジェットを閉じます。

*Workflow.*launchWorkflow(*optional record id*):ワークフローを起動し、ユーザーにワークフロー・ウィジェットを表示する



簡単な属性編集操作のワークフロースクリプトの例:

rar Analyzer = window.parent.Analyzer; rar workflow = Analyzer.workflows.getAllWorkflows()[0 unction closeWorkflow() { Analyzer.workflows.closeAllMapPopups(); vorkflow.closeWorkflow();)];
V.	
unction saveForm() {	
G.submit('Form','Save').done(function(result) {	
Analyzer.workflows.closeAllMapPopups();	
vorkflow.closeWorkflow();	
Analyzer.workflows.updateWorkflowDataset(workflow));
);	

新しいグローバル・ウィンドウ・スタイル-モダン

各ウィジェットウィンドウの外観を変更する新しいウィンドウスタイルが追加されました。デフォルトでは、 モダンな設定が使われるようになりました。このオプションは、Motifs Configuration タブで利用できます。

MOTIFS		
Style:	Black	~
CUSTOMIZE		
Font:	Trebuchet MS	~
Window Style:	Modern	~

伝統的な設定





新しい個別チャートウィンドウのスタイル

透明な背景

新しいオプションが各チャートのスタイル設定として追加されました。これらは、「Additional Charts」タブの「Style」タブでアクセスできます。各チャートには、チャートウィンドウの背景を透明にするオプションが追加されました。これを有効にするには、"Transparent Background "をチェックします。これは、他のチャートの機能を拡張するウィジェットを作成したい場合に便利です。例えば、以下のようなものです。



日付チャートの機能を拡張するために、透明な HTML チャートを日付チャートに配置しました。

チャートメニューから隠す

Analyzer のアクティブなウィジェットは通常 Charts メニューに表示され、ユーザが切り替えることができま す。このメニューからウィジェットを削除するには、これをチェックします。

ユーザーモードのサイズ変更の許可

アプリモードでウィジェットのサイズ変更や移動ができます。

自動幅(HTML ウィジェット

HTML ウィジェットの幅は、コンテンツのサイズによって自動的に決定されます。

オートハイト (HTML ウィジェット

HTML ウィジェットの高さは、コンテンツのサイズによって自動的に決定されます。

LuciadRIA ビューの機能拡張

LuciadRIAのビューの中で、ヒートマップ、クラスターレイヤー、空間フィルター描画ツール、フィットオール、ズームツールが使えるようになりました。線と点のスタイルは、ピクセルに加えてメートルでも定義できます。

測定ツールが内蔵されました。測定を有効にするには、3Dビューの「測定」アイコンをクリックします。以下のパネルが表示されます。

1-	Total Distance: 0	0.00m	Total Area	: 0.00m2
Distance	Orthogonal	Area	Height	Cancel

デフォルトでは、「Distance」メジャーがアクティブになっています。



Spatial Filter の強化

各マップビューのレイヤごとに空間フィルタを適用できるようになりました。空間フィルタを定義すると、レ イヤメニューのフィルタアイコン をクリックして、空間フィルタレイヤのトグルオプションにアクセスで きるようになります。

Layers	•
Main View	D
Spatial Filter	
Incidents	T 🖵
Heatmap	
atlboundaties	$\neg \neg \Box$

ツールチップ定義の強化

ユーザーインターフェイスから複数のデータセットのツールチップを定義できるようになりました。ツールチ ップの設定タブに、新しいコマンドストリップが追加されました。データセットを切り替えるには、データセ ット名をクリックします。

マップビューから起動するツールチップウィンドウのデザインが変更されました。ツールチップウィンドウの サイズが大きすぎる場合、ツールチップウィンドウがスクロールするようになりました。

TOOLTIPS				
Default	Boundary	Effectiveness	Difference	
				Add
ld: 171 Date: Thu Dec 0 Offense: BURGL Beatld: 2	3 2015 12:00:00 A/ ARY	X		

レジェンド動作

M.App Enterprise 2021 のリリースでは、レジェンドの場所が統一されました。コンテンツ」→「レジェンド」 にあります。この変更により、クライアントに関係なく凡例を使用することができます。ドラッグ&ドロップは 従来通り機能しますが、2つの変更点があります。

- テーマはもう必要ありません。
- VectorSetsのビジュアライゼーションは異なります。左側には VectorSet の名前だけが表示されていますが、レジェンドにドロップするとすぐに解けて、以前のリリースで知っていたようにシングルレイヤーを扱うことができるようになります。



ブラウザアプリ用の新しい M.App Editor

M.App Enterprise 2021」で導入された「M.App Editor」のフレームワークが新しくなりました。

APPLICATION TYPE	
MAP VIEW	11
Q FEATURE ANALYZER	Ħ
Se RECIPES	п
CUSTOM PANEL	
CODE SNIPPETS	
Map	1
Vector	-
Transformations	- 2
Communication	
MAE interface	
Recipes	

新しい M.App Editor での作業方法は、これまでのリリースと同じです。簡単なドラッグ&ドロップで、ブラウ ザアプリにマップビュー、フィーチャーアナライザービュー、レシピを挿入することができます。



カスタムパネルを使用すると、バックグラウンドでAPIにアクセスすることができます。助けになるように、 いくつかのコードスニペットもブラウザアプリ内で使用できるようになっています。バックグラウンドで LuciadRIAAPI全体を使用しているため、コードの処理が再構築され、カスタムコードの視覚的なインタープ リタで作業しているような感覚を得ることができます。

APPLICATION TYPE	
MAP VIEW	map-view-1 SCRIPT 3 STYLE
Q FEATURE ANALYZER	<pre>1 import * as ShapeFactory from '@luciad/ria/shape/ShapeFactory'; 2 import * as ReferenceProvider from '@luciad/ria/reference/ReferenceProvider'; 3 import { MaxWayd astacProvider } form '@luciad/cia/wide/MaxWayd astac';</pre>
RECIPES	4 immer implements
CUSTOM PANEL	II 6 // ፼ import import
CODE SNIPPETS	7 co (e) Image
Мар	9 [@] ImageBitmap 9 [@] ImageBitmapRenderingContext
🔇 Read map information	i co (e) ImageData 11 CorestaTracePitman
🚱 Pan to point	1 12 (e) DataTransferItem
🔇 Pan to bounds	<pre>10 [] [@] DataTransferItemList 14 [0] clicatInformation</pre>
S Zoom in/out	15 // Pan to target after 3 seconds
Layer	<pre>16 setlimeout(() => window.map.mapNavigator.pan(panUptions), 3000); 4</pre>
Vector	•
Add event handler for SelectionChanged event	
🔇 Create a custom painter	1
Transformations	4
Communication	
MAE Interface	4
Recipes	*
🦰 Listen for process start	1
Listen for process status update	
Listen for process finish	1
🧾 Get process outputs	
negister preprocessor	1



OGC プラグイン

今回のリリースでは、デスクトップクライアントに新しいプラグインを提供しています。様々な OGC サービス をクライアント側で直接追加できるようになりました。

注:同じ OGC サービスを異なる所在地のクライアントに使用する場合は、M.App Enterprise Studioの GeoService タブを使用する必要があります。

プラグインのアイコンは以下のようになっています。

nttp://sg.geodatenzentrum.de	e:80/wms_vg2500?request=G	etCapabilities&service	PEVMS&VERSION=1.3	.0	
Legend		Metadata		Preview	
▼ Layers Bundesland Kreis Regierungsbezirk	Service: Selected layer:* Feature name:* Output type:*	WMS 1.3.0 Bundesland Bundesland JPEG	~		
	CRS:* Max. Tile width: Max. Tile height:	3857	~		
				l	Ipdat





詳細は以下をご覧ください: https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/OGC-プラグイン/タ-p/41707



SAP Hana

今回の M.App Enterprise のリリースでは、完全にサポートされる 4番目のデータベース・プロバイダーを導入しました。SAP Hana です。完全にサポートされているということは、マスターDB、テナント DB、データ DB が SAP Hana にあるかどうかは問題ではありません。M.App Enterprise では、データベース自体の制限がSAP Hana の唯一の制限となります。

S A	R				
Provider*	Microsoft	SQL Server(PostGIS	• Hana	
Server*					
User*					



スタイルエディター

今回のリリースの大きな特徴は、スタイルエディターが完全に作り直されたことです。すべての新機能を説明 することは、リリースガイドの範囲外となりますが、最も重要で最も明白なものをここで紹介します。

• 右側のマップにスタイルのライブプレビューが表示される



• Classify and Categorize」では、ウィザードを使って簡単なスタイルを素早く取得できます。分類したいスタイル と、対応するデータベースフィールドを選択するだけです。

注:「Classify」では、数字のフィールドのみ使用可能です。



Generate catagorized rules

Style	Boroughs_FA	~	Brooklyn	
Field	boroname	~	Bronx	
Categories	5	~	Manhattan	
Color scheme		•	Queens	
			Staten Island	
				[Canal] [Canal





スタイルエディター内でレイヤーをフィルタリングし、再配置することができます。スタイリングされたすべてのレイヤーを現在必要なものにフィルタリングすることができ、1つまたは複数のレイヤーが重なっている場合は、シンプルなドラッグ&ドロップの方法でこの問題を解決できます。

NEWYORK	T
1	
Airports	() ×
Boroughs_FA	
Cities	
> 🐺 Unstyled (14)	

詳細は以下をご覧ください: https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/How-to use-the-new-Style-Editor/ta-p/41541



Spatial Workshop

新しい空間レシピを作成した後、または既存の空間レシピを編集した後、「**コンテンツ」→「空間レシ** ピ」で「空間ワークショップ」を見つけることができるようになりました。

==	IMAGERY
ļļ	VECTOR DATA
ШĨ	VECTOR SETS
5	GEOSERVICES
▦	ATTRIBUTE DATA
0	3D DATA
	LEGENDS
×	STYLESETS
ł	WORKFLOWS
\$	MY GEOSERVICES
8	CONNECTIONS
©	COPYRIGHTS
J	CUSTOM CRS
200	RECIPES



2ファクタ認証

二段階認証または**二段階認証**とは、ユーザーが知っているもの(パスワード)と、ユーザーが持っている ものやユーザーであるもの*以外の*第二の要素を用いて、ユーザーが主張するアイデンティティを確認する 方法である(Wikipedia、2020 年 12 月 2 日)。

M.App Enterprise では、2ファクタ認証を有効/無効にできるオプションがいくつかあります。

- マネジメント
- スタジオ
- アプリ

しかし、テナントを作成する際の要件として設定することもできます。



このチェックボックスは、すべてのユーザー(Studio ユーザーと Apps ユーザー)に継承されます。



図1:安心してください→あなたのQRコードは動作しており、正しいQRコードのように見えます。

チュートリアルとビデオは、https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/How-to set-up-Two-factor-authentication/ta-p/41538 をご覧ください。



各種機能強化

マイアプリページのアプリタイプフィルター

製品アイデアに基づいて https://community.hexagongeospatial.com/t5/Product-Ideas/Overview-Apps-Page/idi-p/37568, M.App Enterprise 2021 では、作成したアプリをタイプ別にフィルタリングできるようにな りました。また、「リストのオートコンプリートフィールド」という機能強化により、リスト全体をその場で フィルタリングすることも可能です。

R	\square	ME	M.App	o Ent	erpris	se				
	=	-	Desktop	✔ Bi	rowser	~	Mobile	•	Search	

リストのオートコンプリートフィールド

フィルターの他にも、リストにオートコンプリートフィールドを導入し、文字を入力するだけでリストが自動 的にフィルタリングされるようにしました。

≜ DELETE E NEW ▼ HIJTER ¥	
Name	Løyers
GMSC,Nagenfurt	1/0
Ra630	5 🖊 🛍
※ 1 2 2 2	Items: 2/34

EPSG コードまたは名称

M.App Enterprise 2021 のリリースでは、アプリ内で EPSG コードを使用する際の新しい動作を導入しました。EPSG コードまたは名前を入力すると、ドロップダウンリストとして結果が表示されます。

EPSG*	3857	E	PSG*	pseudo
	3857 - WGS 84 / Pseudo-Mercator			3857 - WGS 84 / Pseudo-Mercator
		アン		



アプリのページに移動するボタン

M.App Enterprise Studio の URL をコピーし、いくつかの URL パラメータを置き換え、URL 内のハッシュタ グを検索して MyApps ページを実行するのではなく、今回のリリースでは新しい方法が導入されました。スタ ジオには、「Apps ページへ」という新しいボタンがあり、ボタンを1回クリックするだけで、ログイン画面を 表示することができます。

R	1	ME	М.Арр	Enterprise			
						MAI	PPS /
			T FILTER		🔎 GO TO APPS PAGE		
	Name	3					
	2D Br	owser					
1	3D Br	owser Re	ename				
	Airpo	rts Sessi	on Filter				
ł	Airpo	rts Sessi	on Filter - Advai	nced			

デスクトップクライアントの新しいアイコン

M.App Enterprise 2021 では、デスクトップアプリの右上隅に3つの新しいアイコンが表示されます。



向かって左から

• **テーマを切り替える**。現在、デスクトップクライアントは、お使いのオペレーティングシステムの値を使用 しています。このアイコンで、この動作を上書きすることができます。

注:テーマを切り替えると、アプリが再起動されます。

- **リロード**アプリの再読み込みが、テキストの入ったプレーンなボタンではなく、アイコンになりました。
- **ヘルプ**このアイコンは M.App Enterprise で復活し、FluidTopics のドキュメントを開くことができます。



デスクトップクライアントでの測定単位(UOM)の変更

M.App Enterprise 2021 のリリースでは、UOM をその場で変更できる新機能を導入しました。右下に現在の UOM (デフォルト=メートル) が表示されており、それをクリックすると以下のオプションに変更できま す。



この設定は、クライアント側に保存されます。手動で上書きしないと変更できません。

パノラミックのサポート

注: Panoramics は、PRO ライセンスを持つ M.App Enterprise 2021 でのみ動作します。

注: LuciadFusion for M.App Enterprise では、データのクローリングやサービス自体の作成をすべて行う必要があります。

Luciad ポートフォリオの 2020.1 リリースでは、新しいサービスエンドポイントでパノラマが導入され、 M.App Enterprise 2021 でも利用できるようになりました。

DELETE	NEW	T FILTER	Search	
Nan	ELEVATION			
3d_t	OGC 3D TILES			
bf_a	PANORAMICS			
DEM				



パノラマサービスのエンドポイントを指定するとすぐに、すべてのブラウザベースのアプリで利用できるよう になります。LuciadRIAをベースにした「通常の」マップビューでも、Feature Analyzer でも使用できます。 Feature Analyzer のパノラマモードを終了するには、ドアのアイコンをクリックします。





詳細は以下をご覧ください: https://community.hexagongeospatial.com/t5/M-App-Enterprise-Tutorials/How-to visualize-Panoramics/ta-p/41542



解決した課題

Salesforce のチケット番号	件名	説明
00056102	Feature Analyzer がデータセットに設定さ れたスケールを無視する	Analyzer で使用するフィーチャデータとし て、300k以上のレコードを持つ顧客デー タがあります。リンクされている境界デー タは 600k レコード以上あります。フィー チャーデータでの分析は問題なく行われま すが、すべての国にズームするとバウンダ リの読み込みに時間がかかり、時にはブラ ウザのメモリ制限に達してしまいます。
00045490	カスタマイズされた伝説:不快な視覚化	カスタマイズされた伝説である (custom_legend.png)を他のチャートで表 示した場合、例えば「日付チャート」で は、テキストの前に3つの「 」が設 定されます。
00032807	M.App Enterprise - 依頼のない WMS サー ビス	 M.App の WMS サービス (MyGeoservices)では、REQUEST が URL に存在しない場合、正しく動作しないという問題がありました。
00043620	EPSG2925 で読み込んだベクターデータ が、「キャッシング」に設定されている場 合、無効であると表示される。	MAE の Vector Data にデータセットをイン ポートする際、インポートは正常に行われ ます。しかし、インポートされたベクター データを確認すると、インポート時にキャ ッシュをチェックしても、無効と表示され ています。さらに確認すると、「ベクター データのインポートでエラーが発生しまし た!」というメッセージが表示されます。 キャッシング情報を手動で定義してくださ い。
00044802	前日に報告された使用状況を管理統計で確 認	マスターデータベースで使用状況を確認す ると、使用状況レコードはセッションが発 生した日に正確に追跡されています。しか し、管理画面の使用状況レポートでは、こ れらの同じレコードが、実際に発生した日 よりも1日前に発生したかのように表示さ れていることに気づきました。
00060468	ドイツ公式 WFS が起動しない	
00069647	色の手動設定後のソート値の凡例	MApp Enterprise Browser Application の棒 グラフウィジェットでは、凡例の数字が1 から10までソートされていませんが、以下のようになっています。 1,10,2,3,4,5,6,7,8,9.
00062533	リッチクライアントで地図を拡大して選択 すると動作しない	
00063834	テキストスタイル リッチクライアント	属性ベースのテキストスタイリングを使用 する際に問題があります。fontfamily"、 "fontstyle"、"fontweight "にデータベースフ ィールドを割り当てても、アプリケーショ ンで表示されるテキストには影響しませ ん。
00031667	Browser does not support expert point placement: label rotation	エキスバートボイントの配置では、データ ベースからの回転角度の値が使用されま す。これはデスクトップでは問題なく動作 しますが、ブラウザでは同じ設定の同じフ



		ィーチャークラスが回転せずに標準で表示 されます。
00036726	M.App Enterprise:Styleset > different Scales: GUI で表示されない	M.App Enterprise Studio の Styleset では、 異なる縮尺に対して異なるスタイルを定義 することができます。しかし、追加された スケールは保存後にすべて消えてしまい、 表示することができません。
00067240	WMTS が同じ WMS データで動作しない	
00056513	曲線を持つ Oracle Line/Polygon に対して フィーチャーを編集する際に MODIFY を 保存するとエラーになる。	曲線を含む Polygon/Line フィーチャーを MODIFY コマンドで編集すると、保存時に エラーが発生します。 を編集しました。ORA-29877: ODCIINDEXUPDATE ルーチンの実行に失 敗しました ORA13347: 円弧を定義する座 標が異なります。

00055343	WMS の SRID がない	
00069956	頂点の削除に失敗するとバグる	
00061708	パーシステッドエレメントでジオメトリが 保存されない	既存の要素にジオメトリを追加しようとす ると、新しいエントリが作成されます。
00066756	datetimepicker フォームフィールドに datetime 値をパースできない	override=true、デフォルト値として getdate()、visible=false を含む datatimepicker FormField が作成される と、エラーが発生します。 この文字列は有効な DateTime として認識 されませんでした。不明な単語がありま す。 インデックス 0 からのスタート
00067168	ジオメトリを編集してもフィット操作が行 われない	
00067165	ジオメトリ編集モードで移動オプションを 使用する際の視覚的なバグ	
00058507	数値を扱うときにヒートマップが軸上の値 の順序に従わない	
00059255	Json テンプレートのインポート問題	
00068601	円グラフの凡例順序	COVID-19 Feature Analyzer M.App には、 郵便番号別の症例数を5つの範囲で表示す るものがあります。範囲内の件数をグルー プ化する機能属性が使用されていますが、 結果の円グラフでは、凡例のエントリが数 値順に並んでいません。
00068777	Feature Analyzer - ビューテンプレートが保 存できない	設定のタブをいくつかクリックしても、保 存ボタンが表示されません。また、チャー トを追加しても、保存ボタンは表示されま せん。
00059436	Feature Analyser の問題	フィーチャーアナライザーのデータは、 16.5.6 バージョンでは完全に(クラスター として)表示されていましたが、新バージ ョンではデータが(点)で表示されていま す。
00060473	ベクトルデータの読み込み中にエラーが発 生しました。	



	EPSG 25833	
00069044	Geometry locate が動作しない	
00069443	フィーチャーアナライザーでライブエリア データセットを境界として読み込む際にエ ラーが発生する。	
00069774	取り付け修理が終了できない、取り付けが 壊れる	からインストール修復を実行すると コントロールパネルを削除します。 マスターデータベースから WarehouseLocation 値を取得すると、動作 しない環境になってしまう - M.App Service が起動できない。このため、インストール 修復が終了せず、ロールバックします。さ らに、WarehouseLocation プロパティをマ スターデータベースに戻すために MAE 設 定を再実行する必要があります。
00070080	M.App Enterprise Usage の登録が正しく行われていません。	
00070174	MAE - STUDIO - STYLESET - スタジオで STYLESET を削除しても、サーバー内の一 致するフォルダが削除されない	
00070586	デスクトップクエリ	クエリ - のような値を持つフィールドに "2558/6"はテキストとして定義されていま す。"2558/6"を入力すると動作しません が、"2558_6"を入力すると動作します。
00070960	ブラウザ - フィーチャーアナライザー - 入力されたフィーチャーデータの読み込み に失敗しました。 未定義のプロパティ'find'を読み取ることが できません。	新規にFAビューを作成し、FAエディタ を開いた後、FEATURE DATA ソースを適 用しようとすると、エラーが表示されま す。"Error read the input feature data:Cannot read property 'find' of undefined」というエラーが表示されま す。これは、テナントの VECTOR SET が 登録されていない場合にのみ発生し、テナ ントの DB スキーマ
00074700		
000/1/32	回転させたンンホロシーにテータベースフィールドを使用できない	
00052625	デスクトップアプリが開くとシャットダウ ンする	
00053028	M.App Enterprise の言語が自動的にダウン ロードされない	
00060982	STUDIO > My GeoServices > Dataset list in empty if not making least one Vector Set in tenant	
00063898	デスクトップのクエリで、クエリの where 句にヘブライ文字を使用するとエラーが発 生する	
00063941	ヘブライ語のパッケージを更新すると、デ スクトップアプリケーションが動作しなく なる	



00064015	Print Layout Editor - Ungroup ボタンがあり	
	ません。 DESKTOP > PRINT LAYOUT EDITOR - 地	
00064467	図要素の上に「MAPCROSSES」を追加す	
	るには?	
	デスクトップ>プリントレイアウトエディ	
00064469	タ *monl ファイルな問いた後 MOV/E	
	ELEMENTS ツールが動作しない	
	最新の Chrome (Version 83.0.4103.61	
00064525	(Official build) (64-bits))で、ポリゴン上の	
	Feature Analyzer Tooltips が動作しなくな	
00064515	う。 デスクトップ - レコードを削除しないと検	
	索結果のレコード数が表示されない。	
	EDGE ブラウザでのみツールチップが動作	Edge ブラウザでのみ動作します。他のブ
00064568	する	ラウザでは、常に「開いた手」(パンのマ
00064635	デスクトップ>プリントレイアウトエディ	ノックノイ ゴマナ ルマズ小 されしまり。
	<i>А</i>	
	右から左へのエントリーに凡例を設定する	
	デスクトップ>プリントレイアウト編集者	
00064735	- LOWERLEFT プレースホルダを含むテキ	
	スト要素の X 座標が正しくない。	
00064052	MAE は、PostgreSQLの "public "スキーマ	
00004955	以外がら属性やビューのケークを読み込ま ない - 属性 DATA のみ対象	
00065187	デスクトップ - ズームを高速でスクロール	
	するとアプリがクラッシュする	
	デスクトップ>ブリントレイアウトエディ	
00065412	レジェンドに長いレイヤー名があると、コ	
	ラムが消えてしまいます。	
00065742	ドイツ語の言語設定にもかかわらず、一部	
00065862	の文章は英語で表記されています。	
00003002	り イーティー・シンティー レントの美行に久	
	DESKTOP > ACTION SET - ワークフロー	
00066045	を複数回開いたときに入れ替わることなく	
	蓄積されるようになりました。 DESKTOP 1662652から1662644に	
	アップグレードすると、アプリがジオメ	
00066183	トリを処理する際にエラーが発生しま	
00004000	す。	
00034280	カスタムホリヨシスタイリンク	
00034299	アキストの回転問題	アキストの回転は、プレビューでは動作し ますが、マップに適用すると動作しません。
		Feature Analyzer アプリでツールチップと
		して使用されるカンマを含むデータベース
00053700	Feature Analyzer - 属性データのエクスポ ート - CSV	エントリは、セル内のすべてのカンマがア ンダースコアに置換され、セルの内容が引
	1 - 00 V	用符で囲まれた CSV ファイルを取得しま
		す。



00054754	DESKTOP CLIENT - Geometry creation\modify problems	 1.作成時にポイント機能を回転させるオプションがない。2.2. 既存のエンティティ (この問題ではポイント)を編集しようとすると、デスクトップアプリケーションが「スタック」してしまう。いくつかの背景を説明します。1.ORACLE DB で生成されたエンティティを SQL クライアントで検査すると(PL/SQL 開発者)は、いくつかの概念を持っていました。1a. ビフォア・インスタレーション・エンティティは、6
		の行に「ada ardinataa」があるのに計1
		新しいものには「sdo_ordinates」があるのに対し、 新しいものには「sdo_ordinates」がありま せん。1b.sdo_elem_info'にも不整合があ る。2.2. ジオメトリの修正アクションに使 用した JavaScript は以下の通りです。 SC.digitize('AMUDIM', {commands: ['MODIFY', 'MOVE'], startOnLoad: 'modify'},{form.id})
00066951	共有されたブックマークの取り込み	共有されている場合、ME はエクスポート に[shared]を追加しますが、これはインポ ート時にエラーになります。
00052733	ドロップダウンリストの最大制限	
00053603	Feature Analyzer の日付範囲のフォーマッ トがローカライズに対応していない	
00056037	Analyzer View のパフォーマンスに関する 問題	
00056047	ドイツ語の言語設定にもかかわらず、一部 の文章は英語で表記されています。	
00056247	DESKTOP CLIENT - 以下の JS を使用する と、クライアントはポイントを回転させる ことができますが、Oracle 12 データベー スに保存されません。	
00056598	DESKTOP - テーブルのフィールド名の配 置を変更	ヘブライ語で定義されたユーザーを使用す ると、テーブルのフィールド名が右に配置 されませんでした。
00043409	ワークフローエディターでの問題。必要の ない Form オブジェクトがツリーから削除 されない	
00043453	admin のパスワード変更時のエラー	
00055094	モバイル。ログインタイムアウト("Could not sync change"	
00055340	ZOOMING IN - 問題点	
00044627	フィルターやスケールを使用したスタイル が機能しない	
00067389	モバイルアプリケーションでの SQL トリ ガーによるユーザーID の保存	
00067498	M.App Enterprise 3d View で追加の WMS パラメータを渡す問題	
00057073	MAPP Enterprise で複数エリアのジオメト リを作成する方法	
00057162	STUDIO > STYLESET > カスタムスタイル フィルタを使用している場合、レイヤース	



	タイルを再度開くと、定義された異なるス ケールが表示される	
00057242	STUDIO > DESKTOP > LEGEND - できま せん。 同一レベルのレイヤーを持つサブテーマを 注文するには	
00057324	Geoservice がブラウザアプリで動作しない	
00058711	Point Clustering Gone?	
00066052	Web ベースのアプリケーションダウン	
00033364	Feature Analyzer の問題	1 対多の関係にあるポイント/ポリデータセットを含む Feature Analyzer の Vector Set を参照すると、ポイントごとに1つのポリ ゴンしか表示されませんでした。
00052260	WMTS サービスの発行	
00054500	ローカライズ言語のダウンロードやアップ デートのエラー	
00059174	FA テーブルウィジェットでの列のソート がうまくいかない	
00068475	Apollo からリッチクライアントに WMTS を追加する際の問題点	
00059466	クラスターとポイントデータ	
00059825	Active Directory ユーザーとして MAE にロ グインすると、アプリが表示されない。	
00069171	RichClient 16.6 でのポイントジオメトリの 編集に関する問題	ジオメトリの編集」ボタンをクリックする と、不思議なことが起こります。再現する ための手順。1 点のジオメトリを選択 この ジオメトリを編集「未定義」のバウンデ ィングボックス内のすべての点が編集用に 選択され、エラーが発生する all_gem_selected.jpg In
		他のインスタンスでは、Edit ボタンがクリ ックされると、RichClient は「No features are selected」というメッセージを表示し ます。
00069493	サーチバー	画面右下のアウトオブボックス機能の検索 バーは、検索ボックスが空の状態でも検索 を続けます。
00070603	文字列検索(フル)で、ヘブライ語が含まれ ている場合に「値が見つかりませんでし た」を返す。 文字のみ	
00070681	MAE 16.6 - Desktop App JS API - SC.digitize の問題	
00070730	MAE ツールチップの問題	
00060708	MEの無効な形状	
00061693	アクティベーションメールにログイン名を 追加	
00063791	フォンド・カートグラフィを作成する際の MAE の可能性。	
00063889	デスクトップの M.App Enterprise で印刷レ イアウトテンプレートが表示されない	



00065937	MAE のアップグレードとインストール	
00065965	ワークフローエンジンでの翻訳に関する問 題	
00066706	アナライザービューのラインストリングの バグ	
00066957	レジェンドの重複	新しいレジェンド・エントリを作成す るアクション・ボタンを選択すると、 そのエントリが複製される。
00056349	APPS で None WGS84 データを使用する と、BI M.app でジオメトリが表示されな い。	
00067754	EPSG28992 の WMS がデスクトップアプ リケーションで正しく表示されない。	



ヘキサゴンについて

Hexagonは、センサー、ソフトウェア、自律型ソリューションの世界的リーダーです。データを活用して、産業、製造、 インフラ、安全、モビリティの各分野で効率、生産性、品質の向上に取り組んでいます。

私たちの技術は、都市や生産現場のエコシステムを、ますます連結された自律的なものに変え、スケーラブルで持続可能 な未来を確実なものにします。

Hexagon の Geospatial 部門は、過去、現在、可能性、あるべき姿、そして究極的には将来の姿を洞察し、5次元のスマートなデジタルリアリティを実現するソリューションを提供しています。

ヘキサゴン(Nasdaq Stockholm: HEXA B)は、世界 50 カ国に約 21,000 人の従業員を擁し、約 44 億米ドルの純売上高を 誇ります。詳細は hexagon.com で、また @HexagonAB でフォローしてください。

2021年3月1日

著作権について

© 2021 Hexagon AB and/or its subsidiary and affiliates. すべての権利は留保されています。Hexagon は、世界の多くの国で登録商標を保有しています。商標が登録されている国の情報については、商標ページ http://www.hexagongeospatial.com/legal/trademarks をご覧ください。詳細は、製品ページと謝辞をご覧くだ さい。

製品ドキュメント 利用規約

hexagon Geospatialの製品を使用する前に、これらの条件をよくお読みください。

ドキュメント(以下「本ドキュメント」といいます)を提供します。このドキュメントを使用すると、本契約を変更することなく受け入れたことになります。本契約の条項(以下、「条項」)に同意されない場合は、本文書を使用しないでください。

このドキュメントの使用

本文書のすべての資料は著作権で保護されており、無断使用は世界の著作権、商標、その他の法律に違反す る可能性があります。本契約の条件に従い、Hexagon Geospatial (a Division of Intergraph Corporation)および Intergraph の子会社(以下「Intergraph」)は、個人的、非商業的な使用のみを目的として本文書を複製するこ とを許可します。この許可の対価として、あなたはそこに含まれるすべての著作権およびその他の所有権表 示を保持することに同意します。お客様は、Hexagon Geospatial との別個の契約で明確に許可された場合を 除き、いかなる方法でも本資料を修正したり、複製、公的に表示、実行、配布、またはその他の方法で公的 または商業目的で使用することはできません。

前述の許可は、第三者の著作権表示または権利の帰属が付されたコンテンツまたは素材を特に除外します。 上記に明示的に規定されている場合を除き、本契約に含まれるいかなる内容も、暗示、禁反言、またはその 他の方法で、Hexagon Geospatial、Intergraph、または第三者の著作権、特許、または商標に基づくライセン スまたは権利を付与するものとは解釈されません。

お客様が本規約のいずれかに違反した場合、本ドキュメントを使用するお客様の権限は自動的に終了しま す。終了後、お客様はご自身が所有または管理しているダウンロードまたは印刷された資料を直ちに破棄し てください。



免責事項

本契約に基づいて提供されるすべての資料は、「現状のまま」で提供され、いかなる保証もありません。 表現されたものであれ、暗示されたものであれ、いかなるものも含みますが、それに限定されません。 商品性の保証、特定目的への適合性の保証、または非

侵害しています。Hexagon Geospatial は、本文書のコンテンツがエラーフリーであること、欠陥が修正されること、または Hexagon Geospatial ウェブサイトもしくはマテリアルを利用可能にするサービスにウイルスまたはその他の有害な要素がないことを保証しません。

Hexagon Geospatial は、本文書の正確性と完全性を保証しません。Hexagon Geospatial は、予告なしにいつでも本文書を変更することができます。

責任の制限

六角精児は、いかなる場合も、直接的、間接的、付随的な

本文書へのアクセスまたは本文書の使用に起因して、お客様または第三者が被った特別損害もしくは結果的 損害、または利益、収益、データもしくは使用の損失に関する損害は、契約上の訴訟であるか不法行為であ るかを問わず、一切発生しません。

免責事項

お客様は、お客様の本文書へのアクセスまたは使用に起因する、またはそれに何らかの形で関連する、合理 的な弁護士費用を含むすべての請求、責任、損害、損失または費用から、Hexagon Geospatial、その役員、 取締役、従業員、および代理人を防御し、補償し、免責することに同意します。

ソフトウェアの使用

本文書に記載されているソフトウェアを使用する際には、そのソフトウェアに付随するエンドユーザーライ センス契約がある場合には、その契約条件が適用されます。エンドユーザー使用許諾契約書が添付されてい る、または含まれているソフトウェアは、かかる使用許諾契約書の条件を読み、承諾しない限り、ダウンロ ードまたはインストールすることはできません。かかるソフトウェアは、Hexagon Geospatial、Intergraphま たはそのライセンサーの著作物です。ユーザーインターフェースの一部は、2012- Telerik AD に著作権があり ます。

第三者のウェブサイトへのリンク

本文書では、お客様の便宜と情報提供のために、第三者のウェブサイトへのリンクを提供することがありま す。第三者のウェブサイトは、それぞれの規約に準拠します。Hexagon Geospatial は、リンク先の企業や製 品を推奨するものではありません。

第三者のウェブサイトは、Hexagon Geospatial が管理できない独立した当事者によって所有、運営されてい ます。Hexagon Geospatial は、利用者による第三者ウェブサイトの利用に起因するいかなる責任も負いませ ん。利用者が第三者のウェブサイトに、またはそこから行ういかなるリンクも、利用者自身の責任で行うも のとし、利用者が第三者のウェブサイトと共有するいかなる情報も、機密性、データプライバシー、セキュ リティに関するものを含む第三者のウェブサイトの条件に従うものとします。

商標について

本文書に表示されている商標、ロゴ、サービスマーク(以下「マーク」)は、Hexagon Geospatial、 Intergraph、またはその他の第三者の所有物です。ユーザーは、Hexagon Geospatial、Intergraph、またはマ ークを所有する第三者の書面による事前承諾なしにマークを使用することはできません。"Intergraph "は、米 国およびその他の国における Intergraph Corporation の登録商標です。その他のブランドおよび製品名は、そ れぞれの所有者の商標です。



その他の商標情報については、http://www.hexagongeospatial.com/legal/trademarks。

著作権侵害の申立手続きについて

著作権侵害を主張する通知は、Hexagon Geospatial に以下の住所に郵送してください。Intergraph Corporation, Attn: Intergraph Legal Department, P.O. Box 240000, Huntsville, Alabama 35824.

米国政府による制限付きの権利

本資料は "RESTRICTED RIGHTS "で提供されています。米国政府によるマテリアルの使用、複製、または開示は、FAR 52.227-14 および DFARS 252.227-7013 et seq.またはそれらの後継規定に記載されている制限に 従います。政府によるマテリアルの使用は、Hexagon Geospatial または Intergraph の所有権を認めることに なります。

国際的な使用

お客様は、米国の輸出法および規制に違反してマテリアルを使用または輸出することはできません。 Hexagon Geospatial は、マテリアルがあらゆる国での使用に適切または利用可能であることを表明せず、そのコンテンツが違法である地域からのアクセスは禁止されています。

Hexagon Geospatial は、Hexagon Geospatial の国際データへのアクセスを提供します。したがって、お客様の国では発表されていない Hexagon Geospatial の製品、プログラム、サービスへの参照または相互参照が含まれている場合があります。これらの参照は、Hexagon Geospatial がお客様の国で当該製品、プログラム、サービスを発表する意図があることを示唆するものではありません。

本資料は、米国の輸出管理および経済制裁に関する法律および規制の対象となっており、お客様はこれらの 法律および規制を厳格に遵守することに同意されたものとします。さらに、お客様は、お客様が米国の経済 制裁対象国(イラン、シリア、スーダン、キューバ、北朝鮮を含みますがこれらに限定されません)の国民 ではないこと、またはその国内に居住していないこと、および米国の輸出管理および経済制裁に関する法律 および規制のもとで、本マテリアルの受領またはアクセスがその他の形で禁止されていないことを表明およ び保証します。Hexagon Geospatial は、本マテリアルがあらゆる国での使用に適切または利用可能であるこ とを表明せず、そのコンテンツが違法である地域からのアクセスは禁止されています。マテリアルを使用す るすべての権利は、お客様が本契約の条件に従わない場合に当該権利が没収されることを条件に付与されま す。

リビジョン

Hexagon Geospatial は、いつでも本規約を改訂する権利を留保します。お客様は、本規約を定期的に確認す る責任があります。かかる変更の発効日以降にお客様が本文書を継続して使用することで、お客様はかかる 変更を受け入れ、同意したものとみなされます。

準拠法

本規約は、Hexagon Geospatial によってアラバマ州で作成、管理されています。そのため、法の抵触の原則 に影響を与えることなく、アラバマ州の法律が本規約に適用されます。お客様はここに、取消不能で無条件 に、米国の排他的な司法権に従うことに同意します。

本文書の使用に起因または関連するあらゆる訴訟について、アラバマ州北部地区北東部地区地方裁判所また はアラバマ州マディソン郡巡回裁判所に提訴し(かつ、これらの裁判所以外では関連する訴訟を開始しない ことに同意し)、これらの裁判所における当該訴訟の裁判地の敷設に対する異議を放棄し、これらの裁判所に 提起された当該訴訟が不便な場所で提起されたことを当該裁判所で主張または請求しないことに同意しま す。法域によっては、本規約に定める除外事項または制限事項が認められない場合があります。このような 除外または制限は、すべての法域において、適用される法律で認められる最大限の範囲で適用されるものと します。



質問

本規約に関するご質問は、 https://www.hexagongeospatial.com/about-us/our-company/contact-us までお問い 合わせください。